

朝倉小学校下水道接続工事

図面目次

図面番号	図面名称	縮尺
M-01	特記仕様書(1)	NOSCALE
M-02	特記仕様書(2)	NOSCALE
M-03	工事概要・配置図・付近見取図	S=1/500
M-04	給排水設備 屋外平面図(改修前)	S=1/200
M-05	給排水設備 屋外平面図(改修後)	S=1/200
M-06	浄化槽設備 平面図(撤去図)	S=1/50
M-07	浄化槽設備 空気・電気配管図(撤去図)	S=1/100
M-08	浄化槽設備 フェンス図平面図(撤去図)	S=1/100
E-01	特記仕様書(2)	NOSCALE
E-02	動力設備 屋外平面図(撤去図)	S=1/100

項目	特記事項	項目	特記事項	項目	特記事項																																																																																															
機械設備特記事項																																																																																																				
1 標識その他	<p>※ 配管表記 (1.1.7.4準拠) [1.1.8.5準拠]</p> <p>a) 機械室・ピット・P S内・天井点検口・配管分岐場所には必ず表記する。 b) 表記内容は、流体・サイズ・系統名とし、場所・向き・文字サイズ等事前協議決定後に施工する。 c) 配管の識別は、原則として J I S Z 9102によるものとし、識別方法・色合いは監督職員の指示による。</p> <p>※ 機器表記 (該当する主要機器は事前に確認する。) a) 設計記号の付いている主要機器には、カッティングシート等にて表記 (管理番号・室名・設置年月等) を行う。 b) パッケージエアコン等の空調機は、室内機だけでなく室外機にも表記を行う。 c) 水中に設置する各種主要機器類は銘板 (製造社名・製造年月・型番・性能等) を盤付近にも設ける。</p> <p>※ 弁には、開閉等を記入したアクリル札を取付け、風で飛んだり騒音を立てないように固定するか、表示方法を協議する。 ※ 埋設弁ボックスには、内部に系統名・管サイズ・設置年月を書いたアクリル札を入れる。 ※ 埋設弁ボックスの蓋は、流体の行き先側に蓋の付根を向ける。 ※ 排水以外の屋外埋設管には、曲がり・分岐部・その他埋設管の位置が確認できるように地中埋設標を設ける。 ※ 排水以外の屋外埋設管の埋戻し時には、G L - 150mm程度に埋設表示用アルミテープを設置する。</p>	11 メカニカル継手	<p>※ メカニカル継手は伸縮可とう・難脱防止性能を有し、内外面エポキシ粉体塗装を施したものとする。 ※ 改修工事等で鋼管類 (ライニング鋼管) を切断して、やむを得ずメカニカル継手を使用する場合には、切断部の防錆処理として、J A W W A K 135規格適合品にて処置する。</p>	24 樹	<p>※ コンクリート製の樹 (工場製品) には、仕上り5cm程度に砂利又は砂等で基礎を施す。 ※ プラスチック製の樹には、コンクリート製または既製の複合材製による基礎を施す。 ※ 舗装面に設置されない樹の蓋は、周囲をモルタル等 (厚さ10cm程度) により保護する。 [下水道排水設備指針と解説準拠]</p>																																																																																															
2 総合調整	<p>本工事に該当する工事種目に応じて、下記項目の総合調整を行い、計画書及び報告書を監督職員に提出する。</p> <p>a) 風量調整 b) 水量・水圧調整 c) 室内外空気の温湿度の測定 d) 騒音の測定 e) 室内気流及びじんあいの測定 f) 飲料水の水质の測定</p> <p>なお、季節により運転条件が異なる、使用開始から定常状態に入るまでに時間を要する等の理由により、工期内の測定完了が不可能な調整項目の対応については、監督職員との協議による。 (2.1.3.3準拠) [2.1.3.3準拠]</p>	12 吊り及び支持	<p>※ 原則として下図に従う。詳細は国土交通省仕様による。 (2.2.6.3準拠) [2.2.4.3準拠]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">横走り管の吊り及び振れ止め最大支持間隔</th> <th colspan="12">呼び径</th> </tr> <tr> <th colspan="2">分類</th> <th>15</th><th>20</th><th>25</th><th>32</th><th>40</th><th>50</th><th>65</th><th>80</th><th>100</th><th>125</th><th>150</th><th>200</th><th>250</th><th>300</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">吊り金物による吊り</td> <td>鋼管等</td> <td colspan="6">2.0m</td> <td colspan="6">3.0m</td> </tr> <tr> <td>ビニル管等</td> <td colspan="6">1.0m</td> <td colspan="6">2.0m</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">形鋼振れ止め支持</td> <td>鋼管等</td> <td colspan="3">—</td> <td colspan="3">8.0m</td> <td colspan="6">12m</td> </tr> <tr> <td>ビニル管等</td> <td colspan="2">—</td> <td colspan="2">6.0m</td> <td colspan="2">8.0m</td> <td colspan="6">12m</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">立て管の固定及び振れ止め箇所</th> </tr> <tr> <th>固定</th> <th>鋼管等</th> <th>最下階の床又は最上階の床</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">形鋼振れ止め支持</td> <td>鋼管等</td> <td>各階1箇所</td> </tr> <tr> <td>ビニル管等</td> <td>各階1箇所</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 国土交通省仕様どおりに吊り配管等を施工しても、他の資材配管等と干渉する場合は振止めを適宜設ける。 ※ 屋外等で吊り金物による施工ができない場合には、ブラケット等にて配管及び配管付属品を支持し、配管荷重による管の移動を抑える。</p> <p>※ 契約量水器までの埋設給水管及び埋設ガス管は管の周囲100mm程度に保護砂を入れる。 ※ 契約量水器以降の埋設給水管及び埋設消火管は簡易保温管で巻く。 ※ 排水管は管が移動しないように中心程度まで埋戻す。ただし、土圧及び土上載荷重が管きよの耐荷重を超える場合は、遮断用砂で巻立て、外圧に対して管きよを保護する。 (2.2.7.1準拠) [2.2.5.1準拠] [下水道排水設備指針と解説]</p>	横走り管の吊り及び振れ止め最大支持間隔		呼び径												分類		15	20	25	32	40	50	65	80	100	125	150	200	250	300	吊り金物による吊り	鋼管等	2.0m						3.0m						ビニル管等	1.0m						2.0m						形鋼振れ止め支持	鋼管等	—			8.0m			12m						ビニル管等	—		6.0m		8.0m		12m						立て管の固定及び振れ止め箇所			固定	鋼管等	最下階の床又は最上階の床	形鋼振れ止め支持	鋼管等	各階1箇所	ビニル管等	各階1箇所	25 防振施工	<p>※ 機器の振動が建物に影響を及ぼすおそれのあるものは、適切な防振措置を施す。 ※ 電動機等により振動を生じる機器及び配管の固定部にはダブルナットやストッパーボルト等により締め・脱着防止措置を施す。ナットは、アイマークにより締付けが確認できるようにし、ナットに対するボルトの余長は3山以上を標準とする。 [公共建築設備工事標準図 (機械設備工事編) 準拠]</p>
横走り管の吊り及び振れ止め最大支持間隔		呼び径																																																																																																		
分類		15	20	25	32	40	50	65	80	100	125	150	200	250	300																																																																																					
吊り金物による吊り	鋼管等	2.0m						3.0m																																																																																												
	ビニル管等	1.0m						2.0m																																																																																												
形鋼振れ止め支持	鋼管等	—			8.0m			12m																																																																																												
	ビニル管等	—		6.0m		8.0m		12m																																																																																												
立て管の固定及び振れ止め箇所																																																																																																				
固定	鋼管等	最下階の床又は最上階の床																																																																																																		
形鋼振れ止め支持	鋼管等	各階1箇所																																																																																																		
	ビニル管等	各階1箇所																																																																																																		
3 配管材料	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="7">配管の種類</th> </tr> <tr> <th>工種</th> <th>場所</th> <th>屋内露出</th> <th>天井P S内</th> <th>床下暗渠内</th> <th>屋外露出</th> <th>屋外埋設</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>給水</td> <td>水</td> <td>①②③</td> <td>③④⑤⑥</td> <td>④⑤⑥</td> <td>⑦⑧</td> <td>⑧⑨⑩⑪⑫</td> </tr> <tr> <td>排水・通気</td> <td>排水</td> <td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲</td> <td>③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲</td> <td>④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲</td> <td>⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲</td> <td>(15) (15) (15) :125A以上はVU</td> </tr> <tr> <td>給湯</td> <td>湯</td> <td>①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲</td> <td>③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲</td> <td>④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲</td> <td>⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲</td> <td></td> </tr> <tr> <td>消火</td> <td>火</td> <td>①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲</td> <td>③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲</td> <td>④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲</td> <td>⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ガス</td> <td>ス</td> <td>①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲</td> <td>③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲</td> <td>④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲</td> <td>⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲</td> <td></td> </tr> <tr> <td>冷媒</td> <td>媒</td> <td>①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲</td> <td>③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲</td> <td>④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲</td> <td>⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>機器ドレン</td> <td>機器ドレン</td> <td>①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲</td> <td>③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲</td> <td>④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲</td> <td>⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲</td> <td>①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲</td> </tr> <tr> <td>冷温水</td> <td>冷温水</td> <td>①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲</td> <td>③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲</td> <td>④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲</td> <td>⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>冷却水</td> <td>冷却水</td> <td>①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲</td> <td>③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲</td> <td>④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲</td> <td>⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>(1) 配管用炭素鋼管 (SGP黒管 :JIS G 3452) (2) 配管用炭素鋼管 (SGP白管 :JIS G 3452) (3) 水道用硬質塩化ビニル管 (ライニング) 鋼管 (SGP-VB :JWWA K 116) (4) 水道用硬質塩化ビニル管 (ライニング) 鋼管 (SGP-VO :JWWA K 116) (5) 水道用耐熱性硬質塩化ビニル管 (ライニング) 鋼管 (SGP-HVA :JWWA K 140) (6) 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 (SGP-VS :WSP 041) (7) 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 (D-VA :WSP 042) (8) 配管用ステンレス鋼管 (SUS 304 TP-A :JIS G 3459) (9) 一般配管用ステンレス鋼管 (SUS 304 TPD :JIS G 3448) (10) 断熱材被覆鋼管 (JCDA 0009) (11) 水道用架橋用リフレク管 (JIS K 6787) (12) 水道用リフレク二層管 (JIS K 6762)</p> <p>(13) 耐火二層管 (内管VP) (14) 硬質ポリ塩化ビニル管 (VP :JIS K 6742) (15) 硬質ポリ塩化ビニル管 (VP-VU :JIS K 6741) (16) 耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管 (HVP :JIS K 6742) (17) 耐熱性硬質ポリ塩化ビニル管 (HT :JIS K 6776) (18) 水道配水用リフレク管 (JWWA K 144) ・建築設備用高密度リフレク管 (19) 消火用リフレク管 (20) ガス用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 (21) ガス用リフレク管 (JIS K 6774) (22) 硬質ポリ塩化ビニル管 (JIS K 6741) (23) 保温材付空調用ドレン管 (JIS C 8430準拠 :JIS K 6741)</p> <p>設計図面に個別の記載があるものについてはこれによらない。 (2.2.1.2準拠) [2.2.1.1準拠]</p>	配管の種類							工種	場所	屋内露出	天井P S内	床下暗渠内	屋外露出	屋外埋設	給水	水	①②③	③④⑤⑥	④⑤⑥	⑦⑧	⑧⑨⑩⑪⑫	排水・通気	排水	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲	③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲	④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲	⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲	(15) (15) (15) :125A以上はVU	給湯	湯	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲	③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲	④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲	⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲		消火	火	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲	③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲	④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲	⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲		ガス	ス	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲	③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲	④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲	⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲		冷媒	媒	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲	③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲	④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲	⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲	-	機器ドレン	機器ドレン	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲	③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲	④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲	⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲	冷温水	冷温水	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲	③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲	④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲	⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲	-	冷却水	冷却水	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲	③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲	④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲	⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲	-	13 埋設管の保護	<p>※ 契約量水器までの埋設給水管及び埋設ガス管は管の周囲100mm程度に保護砂を入れる。 ※ 契約量水器以降の埋設給水管及び埋設消火管は簡易保温管で巻く。 ※ 排水管は管が移動しないように中心程度まで埋戻す。ただし、土圧及び土上載荷重が管きよの耐荷重を超える場合は、遮断用砂で巻立て、外圧に対して管きよを保護する。 (2.2.7.1準拠) [2.2.5.1準拠] [下水道排水設備指針と解説]</p>	26 転倒・落下・傾き防止	<p>※ 床又は壁に設置の機器で重量が大きく重心位置が比較的高い機器については転倒防止措置を施す。 ※ 天吊り機器には振止め用形鋼架台や斜材を用いる等して落下・傾き防止措置を適切に施す。 ※ 天吊り機器と吊り金物との接続箇所毎に防振装置を設ける。 [建築設備検査資格者講習テキスト準拠]</p>																		
配管の種類																																																																																																				
工種	場所	屋内露出	天井P S内	床下暗渠内	屋外露出	屋外埋設																																																																																														
給水	水	①②③	③④⑤⑥	④⑤⑥	⑦⑧	⑧⑨⑩⑪⑫																																																																																														
排水・通気	排水	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲	③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲	④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲	⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲	(15) (15) (15) :125A以上はVU																																																																																														
給湯	湯	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲	③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲	④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲	⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲																																																																																															
消火	火	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲	③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲	④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲	⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲																																																																																															
ガス	ス	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲	③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲	④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲	⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲																																																																																															
冷媒	媒	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲	③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲	④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲	⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲	-																																																																																														
機器ドレン	機器ドレン	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲	③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲	④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲	⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲																																																																																														
冷温水	冷温水	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲	③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲	④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲	⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲	-																																																																																														
冷却水	冷却水	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲	③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲	④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲	⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲	-																																																																																														
		14 埋設深さ	<p>管の地中埋設深さは、原則として車両道路では管の上端より600mm以上、それ以外では300mm以上とする。ただし、寒冷地では凍結深度以上とする。 (2.2.7.2) [2.2.5.2]</p>	27 特定天井への対応	<p>天吊り機器等の施工方法は、「建築物における天井脱落対策に係る技術基準」に適合すること。</p>																																																																																															
		15 防食措置	<p>※ 鋼管、鉛管のコンクリート内配管にはプラスチックテープ1ノ2重ね1回巻きとする。 (2.2.7.3準拠) [2.2.5.3準拠] ※ 地中に埋設する錆鉄管・錆鉄異形管・メカニカル継手・特殊継手類にはポリエチレンスリーブ等の被覆を講じること。 [給水装置工事施工要領]</p>	28 耐震施工	<p>設備機器の固定等は、国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修の「建築設備耐震設計・施工指針 (2014年版)」及び建設大臣官庁官庁管理官庁整備部の「官庁施設の総合耐震計画基準及び同解説 (平成8年版)」による。局部震度法による設計用標準震度は、構造体の耐震安全性の分類、設備機器の重要度及び設置階により選定する。1.0okg以上の機器に適用し、それ以下の機器については監督職員と協議する。 給湯設備の転倒防止措置は、建築基準法施行令第129条の2の7第2号及び同令に基づく告示 (平成24年国土交通省告示第1447号) の定めによる。 なお、施工に先立ち、耐震強度計算書を監督職員に提出し、承諾を受けるものとする。</p>																																																																																															
		16 保温工事	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="7">保温の種類</th> </tr> <tr> <th>工種</th> <th>場所</th> <th>屋内露出</th> <th>機械室・倉庫</th> <th>天井・P S内</th> <th>床下暗渠内</th> <th>屋外露出</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>給水</td> <td>水</td> <td>a (a) VII</td> <td>①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲</td> <td>C2 (a) VII</td> <td>d (a) VII</td> <td>①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲</td> </tr> <tr> <td>排水</td> <td>水</td> <td>①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲</td> <td>③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲</td> <td>④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲</td> <td>⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲</td> <td>屋内空調用ドレン管は保温材付き</td> </tr> <tr> <td>給湯</td> <td>湯</td> <td>①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲</td> <td>③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲</td> <td>④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲</td> <td>⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲</td> <td>断熱材被覆鋼管の場合</td> </tr> <tr> <td>冷媒</td> <td>媒</td> <td>①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲</td> <td>③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲</td> <td>④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲</td> <td>⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>矩形ダクト</td> <td></td> <td>①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲</td> <td>③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲</td> <td>④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲</td> <td>-</td> <td>K3 (a) X①</td> </tr> <tr> <td>丸形ダクト</td> <td></td> <td>①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲</td> <td>③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲</td> <td>④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲</td> <td>-</td> <td>K3 (a) X①</td> </tr> <tr> <td>弁・継手類</td> <td></td> <td>①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲</td> <td>③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲</td> <td>④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲</td> <td>⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>(イ) ロックウール保温材 (ロ) グラスウール保温材 (n) ポリスチレンフォーム保温材 (二) 簡易保温管10mm (s) 簡易保温管20mm (k) 簡易耐熱保温管10mm (t) 簡易耐熱保温管20mm 設計図面に個別の記載があるものについてはこれによらない。 (2.3.1.1準拠) [2.3.1.1準拠]</p>	保温の種類							工種	場所	屋内露出	機械室・倉庫	天井・P S内	床下暗渠内	屋外露出	給水	水	a (a) VII	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲	C2 (a) VII	d (a) VII	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲	排水	水	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲	③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲	④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲	⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲	屋内空調用ドレン管は保温材付き	給湯	湯	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲	③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲	④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲	⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲	断熱材被覆鋼管の場合	冷媒	媒	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲	③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲	④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲	⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲	-	矩形ダクト		①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲	③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲	④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲	-	K3 (a) X①	丸形ダクト		①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲	③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲	④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲	-	K3 (a) X①	弁・継手類		①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲	③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲	④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲	⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲	-	29 別途工事	<p>・ スリーブ及び弁入側の補強筋 ・ ガラリ ・ 富裕アルミパネル ・ 床点検口 ・ 天井点検口 ・ 天井及び壁開口に対する下地補強 ・ 洗面化粧台水栓及び排水金物 ・ キッチン台水栓及び排水金物 ・ シャワーユニット水栓及び排水金物 ・ レンジフードファン ・ シャワーユニット換気扇 ・ 化粧鏡 (一般使用) ・ 化粧鏡 (多機能使用) ・ 給湯機器及び空調機器のリモコン記録用配管 ・ コンクリート基礎 (・ 室外機 ・ 受水槽 ・ ボンベ庫) 設計図面に本工事で施工の旨が個別に記載されたものについてはこれによらない。</p>																																
保温の種類																																																																																																				
工種	場所	屋内露出	機械室・倉庫	天井・P S内	床下暗渠内	屋外露出																																																																																														
給水	水	a (a) VII	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲	C2 (a) VII	d (a) VII	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲																																																																																														
排水	水	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲	③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲	④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲	⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲	屋内空調用ドレン管は保温材付き																																																																																														
給湯	湯	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲	③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲	④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲	⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲	断熱材被覆鋼管の場合																																																																																														
冷媒	媒	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲	③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲	④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲	⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲	-																																																																																														
矩形ダクト		①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲	③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲	④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲	-	K3 (a) X①																																																																																														
丸形ダクト		①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲	③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲	④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲	-	K3 (a) X①																																																																																														
弁・継手類		①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲	③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲	④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲	⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲	-																																																																																														
		17 塗装	<p>亜鉛鍍金面の塗装下地は化学処理 (エッチングプライマ) を施す。 (2.3.2.1) [2.3.2.1]</p>	30 支給品	<p>・ 消火器 ・ ガス漏れ警報器 ・ 電磁調理器</p>																																																																																															
		18 はつり工事	<p>既存のコンクリート床、壁等の配管貫通部の穴開けは、原則としてダイヤモンドカッターによる。 [2.4.1.3]</p>	メーカーリスト	<table border="1"> <thead> <tr> <th>機材名</th> <th>メーカー名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>衛生陶器</td> <td>TOTO、LIXIL</td> </tr> <tr> <td>水栓金具類</td> <td>TOTO、LIXIL、三栄水栓</td> </tr> <tr> <td>F R P水槽</td> <td>三菱樹脂、日立化成、積水、プリレストン</td> </tr> <tr> <td>うず巻ポンプ</td> <td>荏原、日立、テラル、川本</td> </tr> <tr> <td>水中モーターポンプ</td> <td>荏原、日立、テラル、川本、鶴見</td> </tr> <tr> <td>汚水・汚物ポンプ</td> <td>荏原、日立、テラル、川本、鶴見、新明和</td> </tr> <tr> <td>電気温水器</td> <td>三菱電機、ユパック、日本電熱、パナソニック、三菱、日立</td> </tr> <tr> <td>厨房機器</td> <td>日本調理、フジマック、北沢、ホシザキ四国、タニコー、マルゼン</td> </tr> <tr> <td>小型銅板ボイラー</td> <td>巴、昭和、愛知、ネボシ、ヒラカワ</td> </tr> <tr> <td>F R P膨張水槽</td> <td>三菱樹脂、日立化成、ホーコス</td> </tr> <tr> <td>ルームエアコン</td> <td>ダイキン、三菱、日立、パナソニック、日本キャリア</td> </tr> <tr> <td>パッケージエアコン</td> <td>ダイキン、三菱、日立、パナソニック、日本キャリア</td> </tr> <tr> <td>冷温水発生機</td> <td>矢崎、日立、荏原、川重、三菱重工</td> </tr> <tr> <td>エアハンドリングユニット</td> <td>新晃、ダイキン、三菱、昭和、パナソニック、日立、木村、日本キャリア、三菱重工</td> </tr> <tr> <td>送風機</td> <td>テラル、荏原、パナソニック、谷山、ミツヤ、旭電業</td> </tr> <tr> <td>冷却塔</td> <td>矢崎、日立、荏原シンワ、空研、日本スピンドル</td> </tr> <tr> <td>自動制御機器</td> <td>アズビル、ジョンソンコントロールズ</td> </tr> <tr> <td>ロールフィルター</td> <td>日本スピンドル、東洋空気調和、日本エアフィルタ</td> </tr> <tr> <td>全熱交換形換気扇</td> <td>三菱、パナソニック、テラル、日本キャリア、日立、ダイキン</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>国土交通省仕様適合品</td> </tr> </tbody> </table>	機材名	メーカー名	衛生陶器	TOTO、LIXIL	水栓金具類	TOTO、LIXIL、三栄水栓	F R P水槽	三菱樹脂、日立化成、積水、プリレストン	うず巻ポンプ	荏原、日立、テラル、川本	水中モーターポンプ	荏原、日立、テラル、川本、鶴見	汚水・汚物ポンプ	荏原、日立、テラル、川本、鶴見、新明和	電気温水器	三菱電機、ユパック、日本電熱、パナソニック、三菱、日立	厨房機器	日本調理、フジマック、北沢、ホシザキ四国、タニコー、マルゼン	小型銅板ボイラー	巴、昭和、愛知、ネボシ、ヒラカワ	F R P膨張水槽	三菱樹脂、日立化成、ホーコス	ルームエアコン	ダイキン、三菱、日立、パナソニック、日本キャリア	パッケージエアコン	ダイキン、三菱、日立、パナソニック、日本キャリア	冷温水発生機	矢崎、日立、荏原、川重、三菱重工	エアハンドリングユニット	新晃、ダイキン、三菱、昭和、パナソニック、日立、木村、日本キャリア、三菱重工	送風機	テラル、荏原、パナソニック、谷山、ミツヤ、旭電業	冷却塔	矢崎、日立、荏原シンワ、空研、日本スピンドル	自動制御機器	アズビル、ジョンソンコントロールズ	ロールフィルター	日本スピンドル、東洋空気調和、日本エアフィルタ	全熱交換形換気扇	三菱、パナソニック、テラル、日本キャリア、日立、ダイキン	その他	国土交通省仕様適合品																																																					
機材名	メーカー名																																																																																																			
衛生陶器	TOTO、LIXIL																																																																																																			
水栓金具類	TOTO、LIXIL、三栄水栓																																																																																																			
F R P水槽	三菱樹脂、日立化成、積水、プリレストン																																																																																																			
うず巻ポンプ	荏原、日立、テラル、川本																																																																																																			
水中モーターポンプ	荏原、日立、テラル、川本、鶴見																																																																																																			
汚水・汚物ポンプ	荏原、日立、テラル、川本、鶴見、新明和																																																																																																			
電気温水器	三菱電機、ユパック、日本電熱、パナソニック、三菱、日立																																																																																																			
厨房機器	日本調理、フジマック、北沢、ホシザキ四国、タニコー、マルゼン																																																																																																			
小型銅板ボイラー	巴、昭和、愛知、ネボシ、ヒラカワ																																																																																																			
F R P膨張水槽	三菱樹脂、日立化成、ホーコス																																																																																																			
ルームエアコン	ダイキン、三菱、日立、パナソニック、日本キャリア																																																																																																			
パッケージエアコン	ダイキン、三菱、日立、パナソニック、日本キャリア																																																																																																			
冷温水発生機	矢崎、日立、荏原、川重、三菱重工																																																																																																			
エアハンドリングユニット	新晃、ダイキン、三菱、昭和、パナソニック、日立、木村、日本キャリア、三菱重工																																																																																																			
送風機	テラル、荏原、パナソニック、谷山、ミツヤ、旭電業																																																																																																			
冷却塔	矢崎、日立、荏原シンワ、空研、日本スピンドル																																																																																																			
自動制御機器	アズビル、ジョンソンコントロールズ																																																																																																			
ロールフィルター	日本スピンドル、東洋空気調和、日本エアフィルタ																																																																																																			
全熱交換形換気扇	三菱、パナソニック、テラル、日本キャリア、日立、ダイキン																																																																																																			
その他	国土交通省仕様適合品																																																																																																			
4 配管付属品	<p>弁の使用区分</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>系統名</th> <th>弁名称</th> <th>寸法区分</th> <th>規格</th> <th>耐 圧</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">給水</td> <td>ボール弁</td> <td>50A以下</td> <td>青銅・管端防食</td> <td>・ 5K ※ 10K ・ 16K ・ 20K</td> </tr> <tr> <td>バタフライ弁</td> <td>65A以上</td> <td>ライニング</td> <td>・ 5K ※ 10K ・ 16K ・ 20K</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">給湯</td> <td>ボール弁</td> <td>50A以下</td> <td>青銅・管端防食</td> <td>・ 5K ※ 10K ・ 16K ・ 20K</td> </tr> <tr> <td>バタフライ弁</td> <td>65A以上</td> <td>SUS</td> <td>・ 5K ※ 10K ・ 16K ・ 20K</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">冷温水</td> <td>玉形弁</td> <td>50A以下</td> <td>青銅・管端防食</td> <td>・ 5K ※ 10K ・ 16K ・ 20K</td> </tr> <tr> <td>バタフライ弁</td> <td>65A以上</td> <td>ライニング</td> <td>・ 5K ※ 10K ・ 16K ・ 20K</td> </tr> </tbody> </table> <p>設計図面に個別の記載があるものについてはこれによらない。 (2.2.2.1準拠) [2.2.1.1準拠]</p>	系統名	弁名称	寸法区分	規格	耐 圧	給水	ボール弁	50A以下	青銅・管端防食	・ 5K ※ 10K ・ 16K ・ 20K	バタフライ弁	65A以上	ライニング	・ 5K ※ 10K ・ 16K ・ 20K	給湯	ボール弁	50A以下	青銅・管端防食	・ 5K ※ 10K ・ 16K ・ 20K	バタフライ弁	65A以上	SUS	・ 5K ※ 10K ・ 16K ・ 20K	冷温水	玉形弁	50A以下	青銅・管端防食	・ 5K ※ 10K ・ 16K ・ 20K	バタフライ弁	65A以上	ライニング	・ 5K ※ 10K ・ 16K ・ 20K	19 非破壊検査	<p>はつり、穴開け及びあと施工アンカー等の施工にあたり、埋設物の事前調査を行う。施工場所を鉄筋探査器により探査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う。 [2.4.1.1]</p>	打合せ事項	<table border="1"> <thead> <tr> <th>官庁庁等名</th> <th>高知市上下水道局</th> <th>打合せ日時</th> <th>令和 年 月 日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>打合せ事項</td> <td colspan="3">・ プール排水は東側道路の下水本管 (将来) に接続予定。</td> </tr> </tbody> </table>	官庁庁等名	高知市上下水道局	打合せ日時	令和 年 月 日	打合せ事項	・ プール排水は東側道路の下水本管 (将来) に接続予定。																																																									
系統名	弁名称	寸法区分	規格	耐 圧																																																																																																
給水	ボール弁	50A以下	青銅・管端防食	・ 5K ※ 10K ・ 16K ・ 20K																																																																																																
	バタフライ弁	65A以上	ライニング	・ 5K ※ 10K ・ 16K ・ 20K																																																																																																
給湯	ボール弁	50A以下	青銅・管端防食	・ 5K ※ 10K ・ 16K ・ 20K																																																																																																
	バタフライ弁	65A以上	SUS	・ 5K ※ 10K ・ 16K ・ 20K																																																																																																
冷温水	玉形弁	50A以下	青銅・管端防食	・ 5K ※ 10K ・ 16K ・ 20K																																																																																																
	バタフライ弁	65A以上	ライニング	・ 5K ※ 10K ・ 16K ・ 20K																																																																																																
官庁庁等名	高知市上下水道局	打合せ日時	令和 年 月 日																																																																																																	
打合せ事項	・ プール排水は東側道路の下水本管 (将来) に接続予定。																																																																																																			
5 スリーブ	<p>国土交通省仕様とする。ただし、水密を要する部分は配管用ステンレス鋼管及び水密膨張性ゴムリングを用いる。 (2.2.2.27準拠)</p>	20 あと施工アンカー	<p>新設工事においては、原則としてあと施工アンカーは使用しない。 [2.5.1.3] 使用する場合には、工事の着手に先立ち施工計画書を作成し、監督職員の承諾を受ける。あと施工アンカー作業における技能者は、あと施工アンカー工事の施工に関する十分な経験と技能を有するものとする。</p>																																																																																																	
6 支持材料	<p>※ 1層土間コンクリート下部配管は、ステンレス製吊りボルトにてスラブ筋に支持する。 ※ 屋外及びピット内配管の支持金物・形鋼振れ止め金物・吊り金物・インサート金物・アンカーボルトはステンレス製とする。 ※ 形鋼振れ止め支持部材の選定は、公共建築設備工事標準図 (機械設備工事編) に準ずるものとし、既製品は使用しない。 ※ 冷媒管の吊り用支持受け材として、断熱材被覆鋼管と吊り金物との間に保護プレートを設置する。</p>	21 パッケージ形空調と機	<p>機器仕様</p> <p>a) グリーン購入法調達基準適合品とし、各メーカーの最高効率機種とする。 b) 室外機仕様 ・ J R A耐重塩害仕様 ・ 耐塩害仕様 ・ 防振架台 ・ 転倒防止金物 ・ 高調波対策仕様 c) 室内機仕様 ・ ドレンアップメカ ・ 自動昇降パネル ・ 防振装置 ・ 振止め金物</p> <p>工事仕様</p> <p>a) ドレンアップメカにより排水する場合は、機器直近にて鳥居状に配管し、立下り部直上に排出口を設ける。 b) 配管化粧カバーは、エンドキャップを使用しテープ巻きを最小限とし、ジャバラ部材は使用しない。 c) 配管化粧カバー・配管ラッキングは室外機の直近まで施す。 d) 室内機及び室外機への電源送りは電気設備工事とし、室外機間の渡り電気配線及び室外機一室内機間の電気配線 (アース含む) は配管、配線共本工事とする。渡り配線で、冷媒配管と同じルートで施工する場合は同配管外装内に納める。</p>																																																																																																	
7 さや管工法	<p>さや管ヘッダー工法で施工する場合、さや管施工後に配管挿入を行い、同時施工としない。</p>	22 ダクト及びダクト付属品	<p>空調ダクト材料 ※ 亜鉛鉄板製 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管 (VU) ・ ステンレス製 換気ダクト材料 ※ 亜鉛鉄板製 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管 (VU) ・ ステンレス製 屋外フード ウェザーカバーはステンレス製・給排気形・水切り付きとし、ベンドキャップはステンレス製・深型・水切り付きとする。原則として、排気用には防鳥網、給気用には防虫網を設ける。</p>																																																																																																	
8 変位吸収配管施工	<p>※ 建築物導入部及びエキスパンションジョイント部は、フレキシブルジョイント等を使用した方法で施工する。 ※ 埋設管の屋内外接続部では、地盤沈下等の変位に対して可とう継手・伸縮可とう継手を設ける等の措置を講じる。 設計図面に個別の記載がない場合は、伸縮継手・自在継手を使用してもよい。 ※ 埋設管と露出配管の切替部 (配管立ち上がり部) に伸縮継手を設ける。 [給水装置工事施工要領準拠] [下水道排水設備指針と解説準拠]</p>	23 合併処理浄化槽	<p>・ 浄化槽の使用開始後概ね3ヶ月間の試運転調整を行う。浄化槽法による「保守点検及び清掃等」のほか下記の事項による。 a) 最低限の点検回数は、小型・沈殿分離方式は月に1回、流量調整槽のある場合は2週に1回とする。</p>																																																																																																	
9 フランジ接合	<p>※ 屋外及びピット内のフランジ接合材は、ステンレス製とし焼付防止処理を施す。 ※ 異種管のフランジ接合は、絶縁スリーブ、絶縁ワッシャー等による絶縁フランジ接合とする。</p>																																																																																																			
10 融着接合	<p>ポリエチレン管融着接合作業における技能者は、十分な経験と技能を有するものとする。</p>																																																																																																			

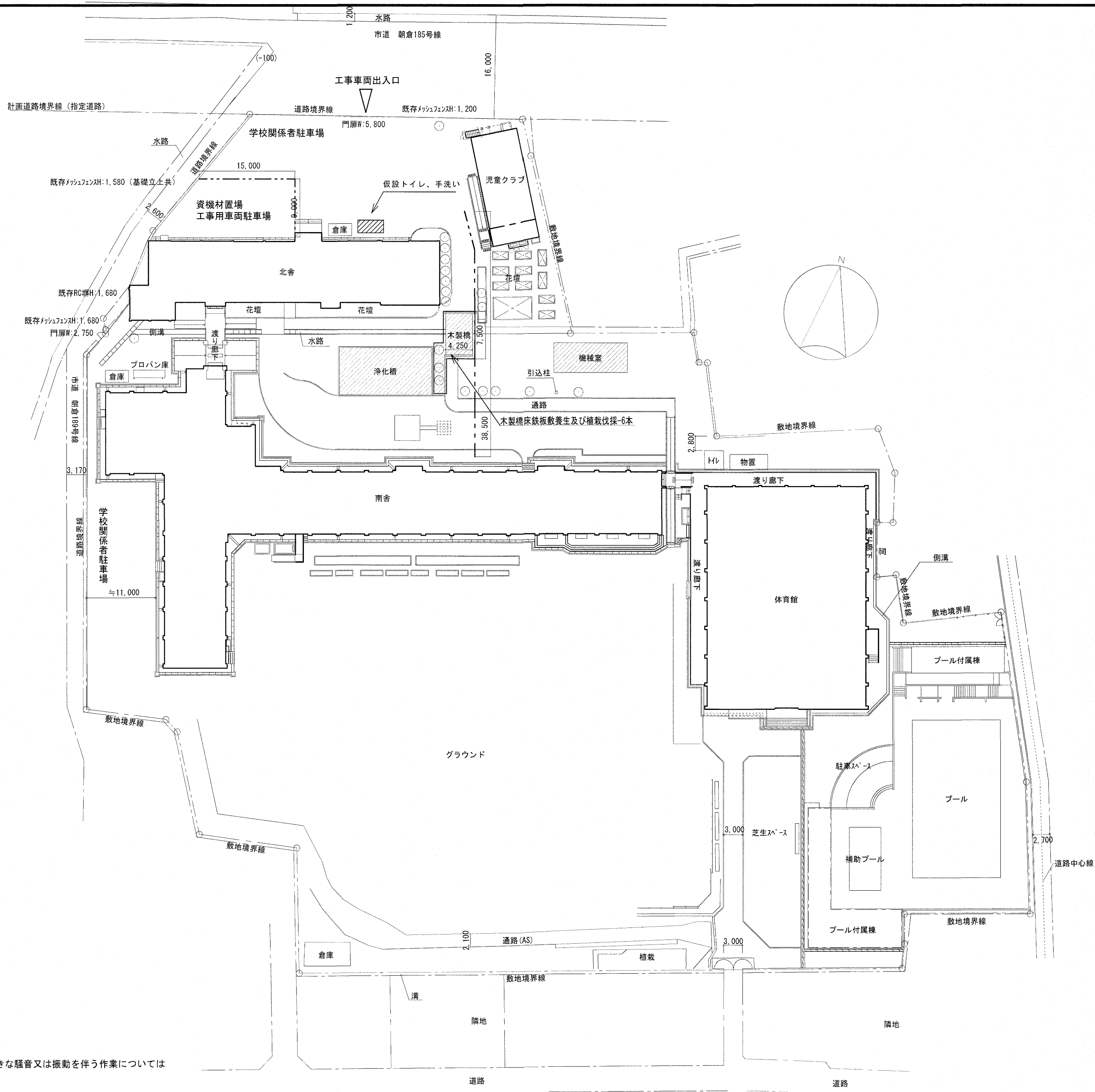
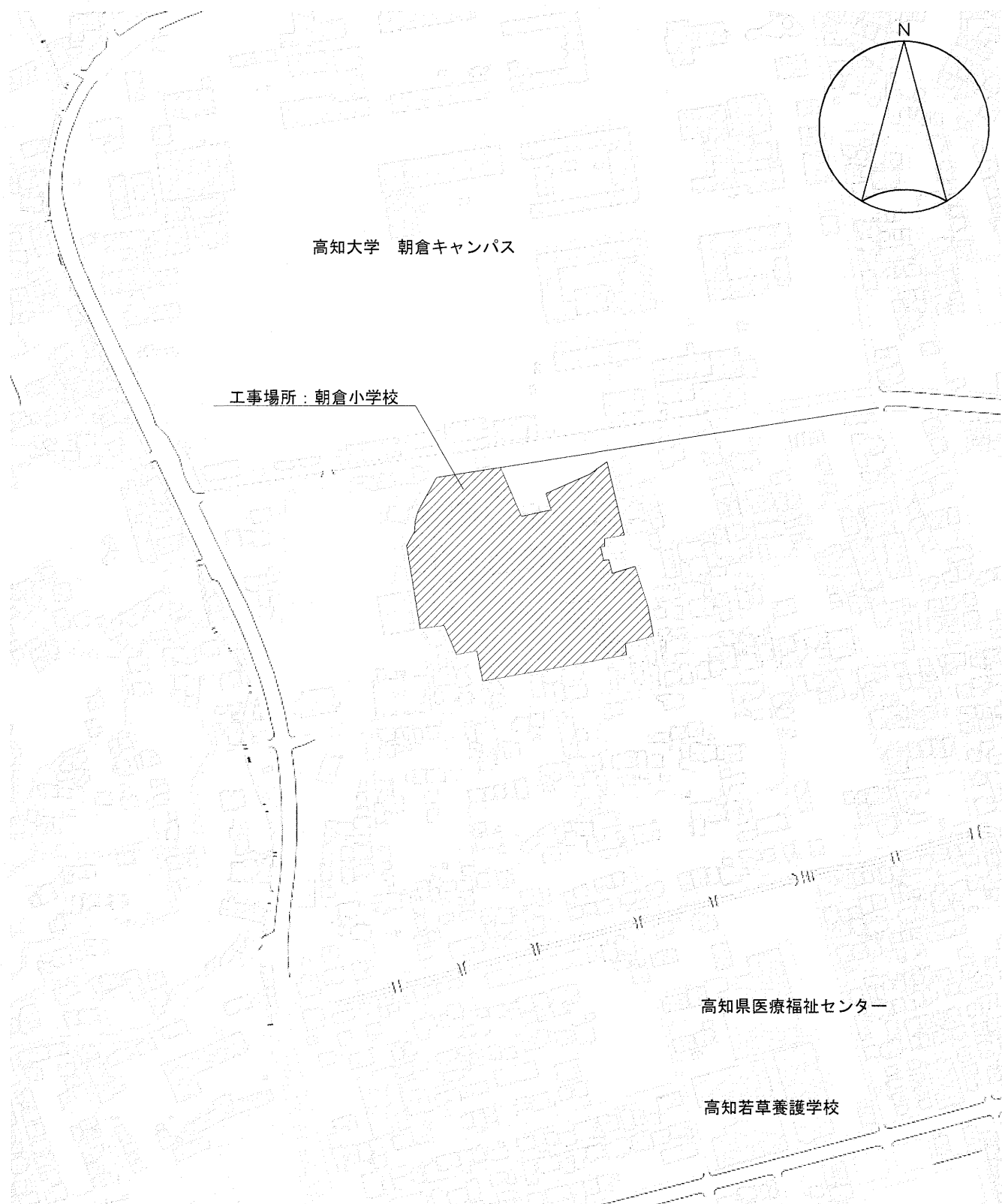
高知市 都市建設部 公共建築課

朝倉小学校下水道接続工事

工 事 名	係	係 長	課長補佐	課 長	図 面 番 号
					M-02

図 面 名	特記仕様書 (2)	更新日	2025.10.1	作 図	2026 年 5 月 日
-------	-----------	-----	-----------	-----	--------------

工事概要
 ・既存浄化槽排水を下水方式に更新を行う。



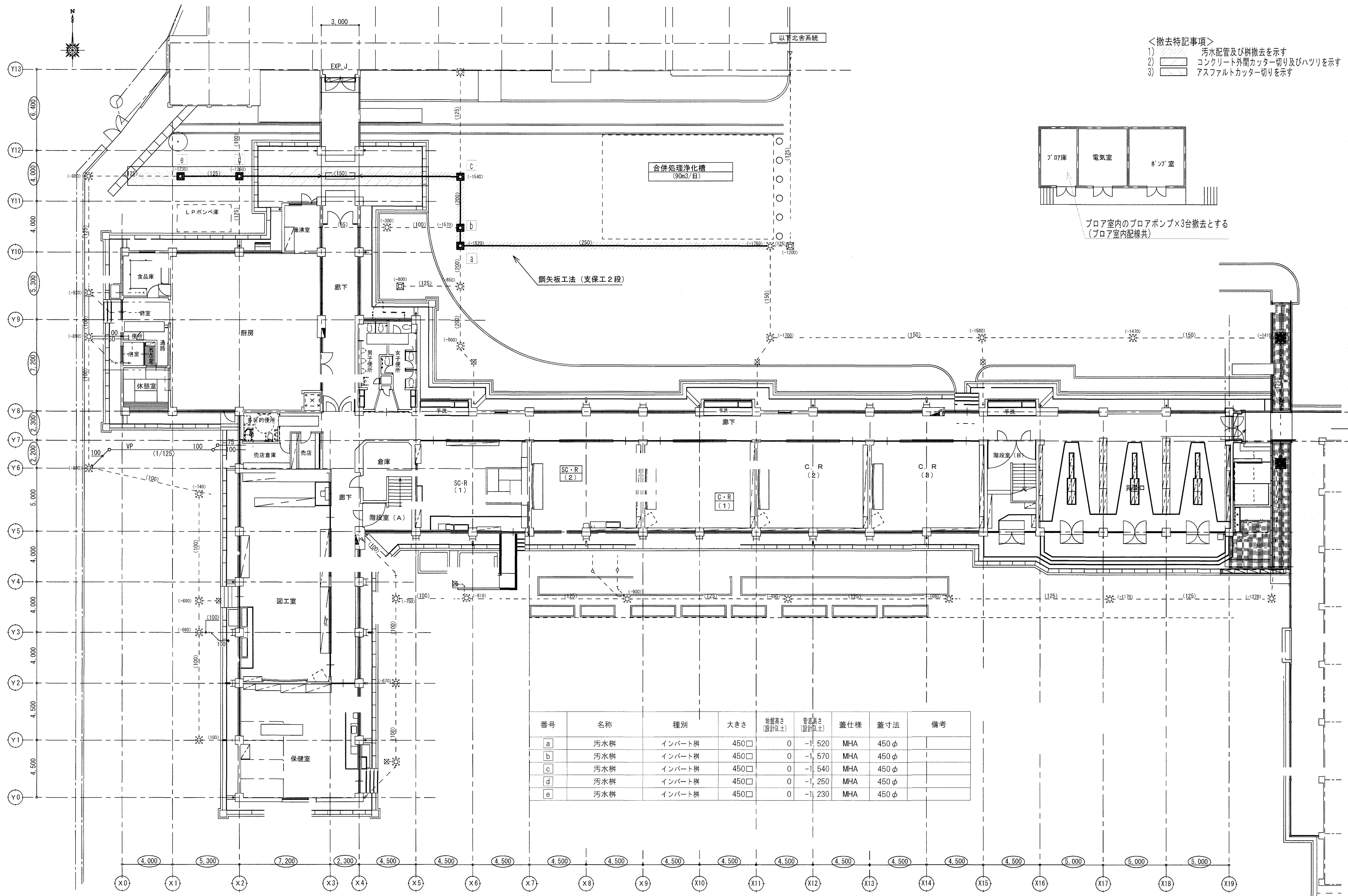
仮設トイレ（快適トイレ）（大便器3台）
 簡易水洗式・腰掛便器タイプ・汲み取り式・消毒液×10本
 ※仮設トイレはリース品とする。
 ※設置期間は45日間
 ※設置期間中の保守管理（清掃・備品管理）は、別途とする。
 ※設置位置は施設関係者と協議の上決定する事。
 手洗いユニット（1基）
 ※仮設給水配管20A（合計60m程度）

----- : 仮囲い ガードフェンス、H1,800程度を示す
 ※ 施工条件・安全対策など
 ・施設を利用しながらの工事となるので、作業時間・内容・大きな騒音又は振動を伴う作業については施設管理者と協議のうえ、作業時間を指定する場合があります。
 ・夏休み期間中に下水道への切替ができるように計画すること。（7月18日～8月31日）
 ・渡り廊下は児童の移動を妨げないように夏休み中に復旧すること。

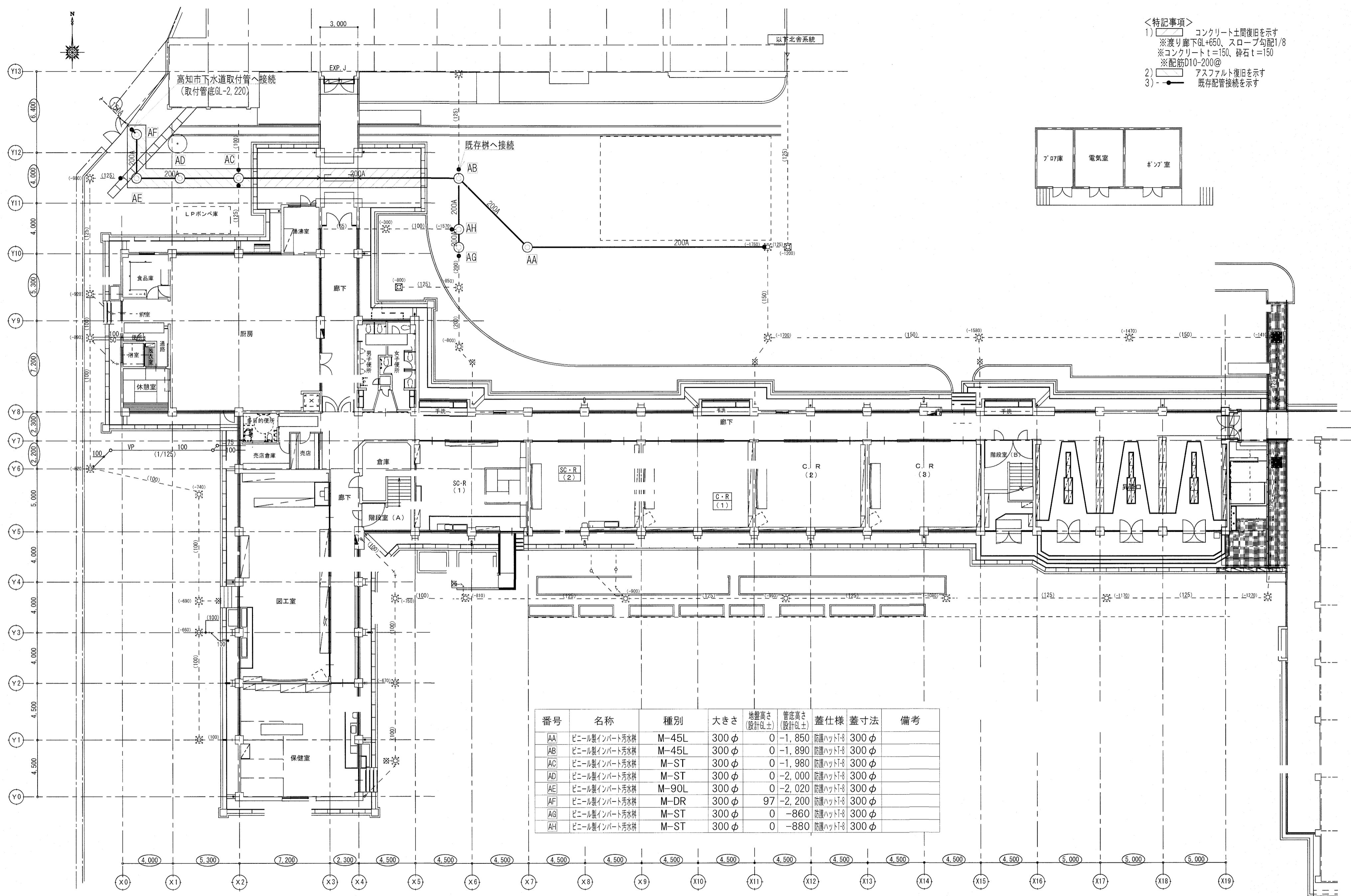
配置図・仮設計画図 S=1:500

▨ : 工事箇所を示す

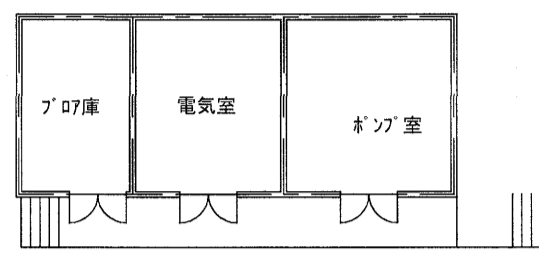
訂正	月	日	係	係長	課長補佐	課長	株式会社 掛水環境研究所 一級建築士事務所 高知県知事登録 第1355号 一級建築士大臣登録 第83949号 川村 実 高知市南久万204番地8 TEL 875-5812 FAX 826-7136	設計年月日 2026.03	承認	野嶋 宣公	工務名称 朝倉小学校下水道接続工事	図面番号 M-03
			高知市都市建設部公共建築課	下元	戸田	伊藤	松本	設計 野嶋 宣公	検図 濱口 隼人	図面名称 工事概要・配置図・付近見取図	縮尺 S=1/500	



番号	名称	種別	大きさ	地盤高さ (設計値)	管底高さ (設計値)	蓋仕様	蓋寸法	備考
a	汚水枦	インバート枦	450□	0	-1,520	MHA	450φ	
b	汚水枦	インバート枦	450□	0	-1,570	MHA	450φ	
c	汚水枦	インバート枦	450□	0	-1,540	MHA	450φ	
d	汚水枦	インバート枦	450□	0	-1,250	MHA	450φ	
e	汚水枦	インバート枦	450□	0	-1,230	MHA	450φ	



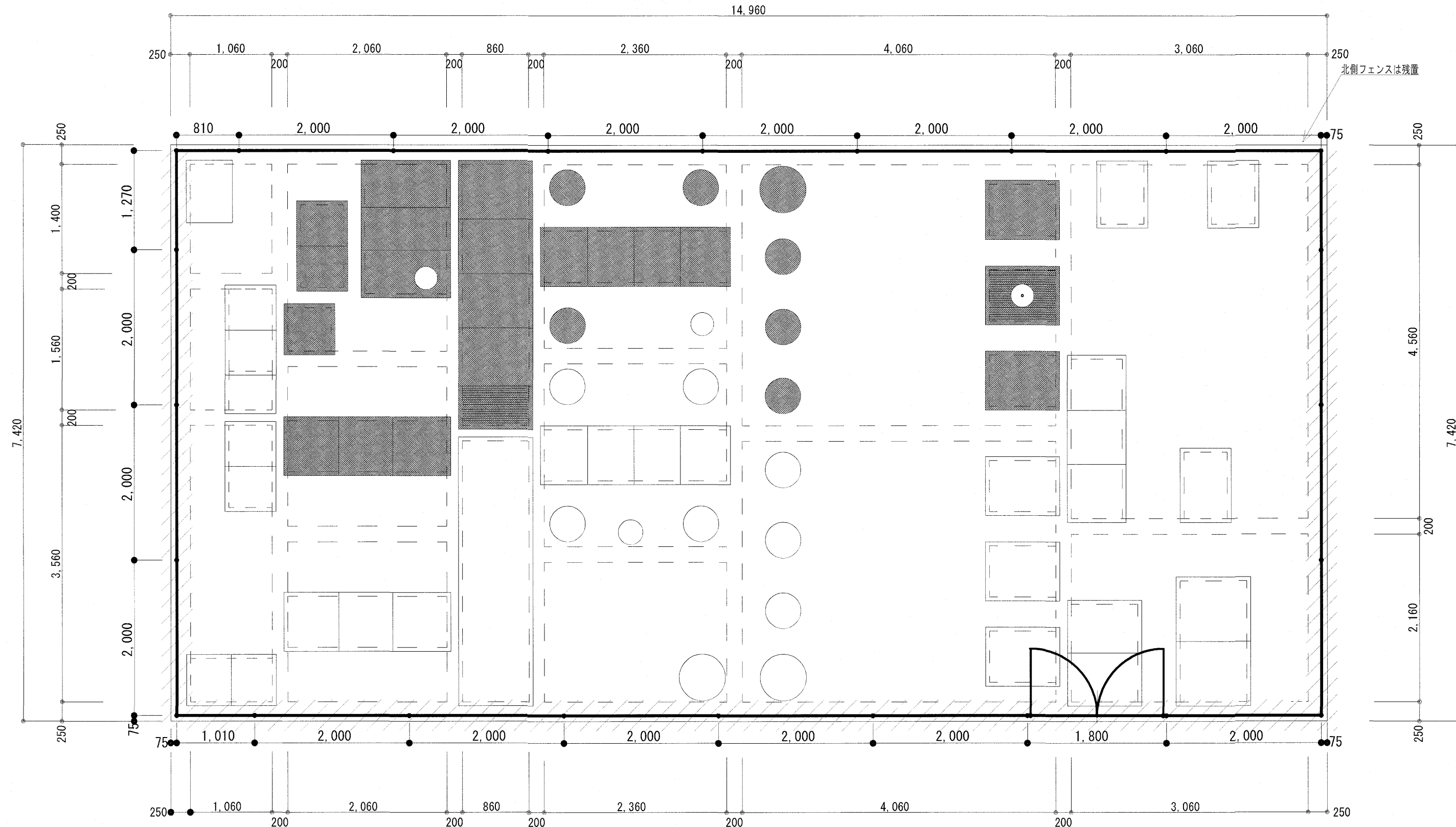
- <特記事項>
- 1) コンクリート土間復旧を示す
 ※渡り廊下GL+650、スロープ勾配1/8
 ※コンクリートt=150、砕石t=150
 ※配筋D10-200@
 - 2) アスファルト復旧を示す
 - 3) 既存配管接続を示す



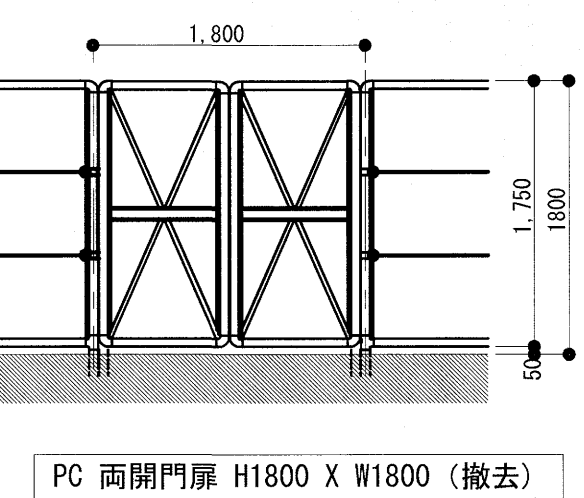
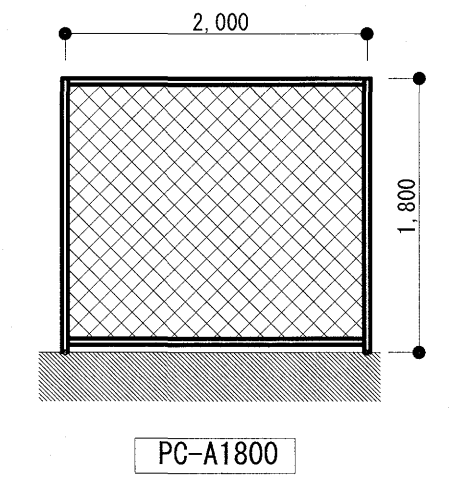
番号	名称	種別	大きさ	地盤高さ (設計員土)	管底高さ (設計員土)	蓋仕様	蓋寸法	備考
AA	ビニール製インバート汚水樹	M-45L	300φ	0	-1,850	防護ハット付	300φ	
AB	ビニール製インバート汚水樹	M-45L	300φ	0	-1,890	防護ハット付	300φ	
AC	ビニール製インバート汚水樹	M-ST	300φ	0	-1,980	防護ハット付	300φ	
AD	ビニール製インバート汚水樹	M-ST	300φ	0	-2,000	防護ハット付	300φ	
AE	ビニール製インバート汚水樹	M-90L	300φ	0	-2,020	防護ハット付	300φ	
AF	ビニール製インバート汚水樹	M-DR	300φ	97	-2,200	防護ハット付	300φ	
AG	ビニール製インバート汚水樹	M-ST	300φ	0	-860	防護ハット付	300φ	
AH	ビニール製インバート汚水樹	M-ST	300φ	0	-880	防護ハット付	300φ	

<特記事項>

1) 斜線部のフェンスは撤去処分とする



浄化槽頂版フェンス図 S=1/50



訂正	月. 日	高知市都市建設部公共建築課	係	係長	課長補佐	課長	株式会社 掛水環境研究所 一級建築士事務所 高知県知事登録 第1355号 一級建築士大臣登録 第83949号 川村 実 高知市南久万204番地8 TEL 875-5812 FAX 826-7136	設計年月日	承認	工事名称 朝倉小学校下水道接続工事	図面番号 M-08
						設計		検図	図面名称 浄化槽設備 フェンス図平面図 (撤去図)		

項目	特記事項	項目	特記事項	機器取付高
電気設備特記仕様		20 非常用照明の照度測定	各部屋2箇所以上を測定し、避難動線を考慮した位置とする。	接地用端子箱 地上、床～中心 500 雷保護接地端子箱 床～下端 800 接地極埋設機 地上～中心 600 室内端子盤（廊下、室内） 床～下端 300 中間端子盤（EPS、電気室） 床～中心 1,500 親時計 床～中心 1,500（上端1,900以下） 子時計、スピーカ 床～中心 (天井高) × 0.9 ※2 アツテネータ 床～中心 1,300 インターホン 床～中心 1,300 外部受付用インターホン機 床～中心 ※1 呼出ボタン（バリアフリートイレ） 床～中心 ※1 復帰ボタン（バリアフリートイレ） 床～中心 1,800 廊下表示灯（バリアフリートイレ） 床～中心 2,000 テレビ機器収容箱 床～中心 1,800 火報受信機（複合盤） 床～操作部 800～1,500 副受信機 床～中心 1,500 火報総合盤 床～中心 800～1,500 ガス漏れ検知器（LPガス） 床～中心 300 ガス漏れ検知器（都市ガス） 天井面～中心 (天井面) -200 備考 ※1 別途監督職員と協議すること。 ※2 天井高が、2,500～3,000mmの場合に適用する。
① 機材	メーカーリストによる。	21 一般照明の照度測定等	照明全数において、センサの動作及び機能の確認を含む照度測定を行い、測定結果を監督職員に提出する。 ※照度測定 (100%点灯時 (※夜間 ・昼間)) ・星光率 (調光制御点灯時 (※夜間 ※昼間)) ※照度測定基準：JIS C 7612に準じて行うこと。	メーカーリスト
2 他工事との取り合い	はり貫通部のスリーブ ※本工事 ・ 別途工事 補強 ・ 本工事 ※ 別途工事 自動開閉装置を取付ける防火戸の切込み、補強及びドアチェック、フロアーヒンジ ・ 本工事 ※ 別途工事 天井埋込型器具の取付箇所の下地材の切込み及び補強 ・ 本工事 ※ 別途工事(墨出しは本工事) ただし、ダウンライト等、切込み寸法が小さい場合は除く 天井点検口の取付箇所の下地材の切込み及び補強 ・ 本工事 ※ 別途工事(墨出しは本工事) 軽量鉄骨壁のボックス取付用の下地材の切込み及び補強 ※ 本工事 ・ 別途工事 埋込型分電盤、端子盤等の仮 枠 ※ 本工事 ・ 別途工事 補強 ・ 本工事 ※ 別途工事 照明器具、幹線等の吊ボルト用インサート ※本工事 ・ 別途工事 屋内の電気室、自家発電室などの基礎、防油堤、ビット(ふたを含む) ・ 本工事 ※ 別途工事 屋外の受変電設備基礎 ※ 本工事 ・ 別途工事 動力機器（電動機など）への接続 ※ 本工事 ・ 別途工事 電話保安器用接地 ※本工事 ・ 別途工事	22 受変電設備	・ 電力ヒューズ（現用の定格値）を予備用と同数量納入し、電気室等に保管する。 ※ SOG制御装置の外箱は原則としてステンレス製とする。 ※ 変圧器に防振ゴムを取り付ける場合は、地震による変位を抑制するための機能を要する。	機材名 メーカー名 電線管類・同付属品 JISによる 電線類等 公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)令和4年版（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修）による 耐火・耐熱ケーブル 登録認定機関の認定を受けている旨の表示をしたもの 配線器具類 JISによる 非常用照明器具 公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)令和4年版（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修）による 誘導灯器具 登録認定機関の認定証が貼付されたもの 照明器具 岩崎電気 東芝ライテック パナソニック 三菱電機照明 コイト電気 高圧交流遮断器 東芝 日新電機 日立製作所 富士電機 三菱電機 明電舎 東光高岳 愛知電機工作所（※電圧7.2kVにおいて遮断電流12.5kA以下のもの） 配線用遮断器 JISC8201-2-1による 漏電遮断器 JISC8201-2-2による 高圧限流ヒューズ エナジーサポート 東芝 富士電機 三菱電機 日立製作所 高圧負荷開閉器 上記5社のほか 大塚電機 戸上電機製作所 電磁開閉器類 JISC8201、JEM1038による 高圧連相コンデンサ 指月電機製作所 東芝 日新電機 ニチコン パナソニック 三菱電機 利昌工業（※モールドコンデンサに限る） 低圧連相コンデンサ JISによる 高圧用変圧器 愛知電機 ダイヘン 東光高岳 東芝 日新電機 日立製作所 富士電機 パナソニック 三菱電機 明電舎 利昌工業（※モールド変圧器に限る） 自家発電装置 日本内燃力発電設備協会の認定証が貼付されたもの 蓄電池設備 防災電源用は登録認定機関の認定証が貼付されたもの 整流装置 レゾナック 古河電池 パナソニック GSユアサ 明電舎 サンケン電気 認定品目等で指定されているものは除く 交流無停電電源装置 京三製作所 サンケン電気 レゾナック 東光高岳 東芝 日本電気機器 日立製作所 容量200kVA以下蓄電池を除く 富士電機 古河電池 パナソニック 三菱電機 明電舎 GSユアサ 一般放送装置（消防用以外） T O A JVCケンウッド パナソニック 電気時計 シチズン T I C セイコータイムクリエーション パナソニック 自動閉鎖装置 運動機構・装置等自主評定委員会の自主評定マークが貼付されたもの 非常放送装置 登録認定機関の認定証が貼付されたもの 非常警報装置（非常ベル） 登録認定機関の認定証が貼付されたもの 火災報知装置 登録認定機関の適合合格証が貼付されたもの テレビ共聴機器 D Xアンテナ 東芝ライテック パナソニック マスプロ電気 HYSエンジニアリング 避雷針 大阪避雷針工業 NIPエンジニアリング 東京避雷針工業 インターホン・ナースコール アイホン ケアコム パナソニック 東芝ライテック 電話交換装置 登録認定機関の適合マーク、技術基準適合自己確認マークが貼付されたもの ホーム分電盤 パナソニック 東芝ライテック 日東工業 テンパール工業 河村電器産業 内外電機 盤類 イトウテック 共栄電機工業 光電設 舞台照明装置 松村電機製作所 東芝ライテック パナソニック 丸茂電機 音響・映像装置 パナソニック T O A ソニー ヤマハ バイオニア JVCケンウッド 三菱電機 中央監視制御装置 azbil パナソニック 東芝 富士通 日立製作所 富士電機 明電舎 昇降機設備 日立製作所 東芝エレベータ 日本オーチス・エレベータ フジテック 日本エレベータ 三菱電機 太陽光発電システム パナソニック 京セラ 東芝 三菱電機 GSユアサ シャープ 明電舎 ※ メーカーリスト以外の機材でも監督職員が同等品以上と認めた場合、若しくは評価名簿に記載されたものについてはこれによらない。
3 電線類	EMケーブルとする。EMケーブルで規格等の記載のないものは、ハログン及び鉛を含まない材料で構成されたものとする。 耐火ケーブル(FP)及び耐熱ケーブル(HP)はシースに耐熱性ポリエチレンを用いたものとする。	23 テレビ共同受信設備	分岐器、分配器、直列ユニットはCS・BS・UHF共用形(デジタル放送対応品)とする。 電界強度の測定 ・ 要 ・ 不要 (a) 受信レベル (b) ビット誤り率(BER) (c) 変調誤差比(MER) (d) 受信画質 ※ 測定内容に関しては、監督職員と協議すること。 埋設深さ ・ 一般敷地 600mm以上 ・ 舗装道路 600mm以上 ・ 公道 800mm以上 地中管路には、管下50mm、管上100mm程度保護砂を入れる。	打合せ事項 官庁庁等名 打合せ日時 令和 年 月 日 打合せ事項
4 電線管	屋外露出配管 銅管を使用する場合 ※溶融亜鉛めっき ・ プライム処理後指定色塗装（2回塗り） ビニール電線管を使用する場合 ※カラー管を使用する P F管は単層管（タイプ-25）とする。	24 構内埋設線路	局部震度法による建築設備機器（水槽を除く）の設計用標準水平震度 耐震安全性の分類 設置場所 特定の施設 一般の施設 重要機器 重要機器 一般機器 一般機器 耐震クラス S A B 上層階 2.0 1.5 1.5 1.0 屋上及び地下階 (2.0) (2.0) (2.0) (1.5) 中間階 1.5 1.0 1.0 0.6 (1.5) (1.5) (1.5) (1.0) 1階及び地下階 1.0 0.6 0.6 0.4 (1.0) (1.0) (1.0) (0.6) 備考 () 内の数値は防振支持の機器の場合に適用する。	打合せ事項 官庁庁等名 打合せ日時 令和 年 月 日 打合せ事項
5 呼び線	長さ1m以上の入線しない電線管には1.2mm以上の樹脂被覆鉄線を挿入する。	25 ハンドホール	水抜き穴は現場の水位を確認の上、要否を検討すること。	打合せ事項 官庁庁等名 打合せ日時 令和 年 月 日 打合せ事項
6 フラッシュプレート材質	・ 樹脂製 ・ 新金属 ・ ステンレス	26 耐震施工	設備機器の固定等は、国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修の「建築設備耐震設計・施工指針（2014年版）」及び建設大臣官房官庁営繕部監修の「官庁施設の総合耐震計画基準及び同解説（平成8年版）」による。 局部震度法による設計用標準震度は、構造体の耐震安全性の分類、設備機器の重要度及び設置階により、選定する。 なお、施工に先立ち、耐震強度計算書を監督職員に提出し、承諾を受けるものとする。 備考 100kg以上の機器に適用するが、それ以下の機器については監督職員と協議する。 地域係数は1.0とし、設計用鉛直地震力は設計水平地震力の1/2とする。 施設の分類 ・ 特定の施設 ・ 一般の施設 重要機器 ・ 受変電設備 ・ 自家発電機 ・ 蓄電池設備 ・ 無停電電源装置 ・ 幹線用分電盤 ・ その他 ()	打合せ事項 官庁庁等名 打合せ日時 令和 年 月 日 打合せ事項
7 カバープレート	用途別表示としてシール等を貼付する。	太陽光発電（太陽電池アレイ）用基礎の強度計算に用いる用途係数 用途 特定の施設 一般の施設 (極めて重要な太陽光発電システム) (通常の太陽光発電システム) 用途係数 1.32 1.0 備考 通常の太陽光発電システムの風速の設計用再現期間を50年とし、これが用途係数の1.0に相当する。	太陽光発電（太陽電池アレイ）用基礎の強度計算に用いる用途係数 用途 特定の施設 一般の施設 (極めて重要な太陽光発電システム) (通常の太陽光発電システム) 用途係数 1.32 1.0 備考 通常の太陽光発電システムの風速の設計用再現期間を50年とし、これが用途係数の1.0に相当する。	打合せ事項 官庁庁等名 打合せ日時 令和 年 月 日 打合せ事項
8 接地極	※ 下記による。なお接地極E Bの長さは1,500mmとする。 接地の種類 記号 接地抵抗値 接地極 共同接地 E A E D 10Ω 以下 E B (14φ) x 3連-2組 A種 E A 10Ω 以下 E B (14φ) x 3連-2組 B種 E B 200Ω 以下 E B (14φ) x 3連-2組 C種 E C 10Ω 以下 E B (14φ) x 3連-2組 D種 E D 100Ω 以下 E B (10φ) x 1 雷保護 E L 10Ω 以下 E P x 1 高圧避雷器 E L H 10Ω 以下 E B (14φ) x 3連-2組	27 特定天井への対応	天吊り機器等の施工方法は、「建築物における天井脱落対策に係る技術基準」に適合すること。	打合せ事項 官庁庁等名 打合せ日時 令和 年 月 日 打合せ事項
9 埋設表示	雷保護設備用及び共同接地極の表示 ・ 黄銅板製 ・ ステンレス製 上記以外の接地極及び地中配線の表示 80φ x 300のコンクリート杭又は、プラスチック杭に方向種別を彫り込んだもの。ただし、舗装された場所は鉄製ピンとする。 地中配線には電圧、線路長に關係なく標識シート（ダブル）を管頂と地表面の中間に設ける。	28 風圧力	本工事に使用する材料及び工法は、建築基準法に基づき定まる風圧力に対応したものとし、速度圧を求める場合の風速(Vo)及び地表面粗土区分は、次の数値とする。（ポール型照明についてはJIL1003を適用とする。） 風速(Vo)： ・ 38m/sec (・ コンクリート柱 ・ テレビアンテナ ・ 避雷針 ・ 太陽光電池アレイ ・) ・ 60m/sec (・ ポール型照明 ・) 地表面粗土区分： ※ Ⅲ	打合せ事項 官庁庁等名 打合せ日時 令和 年 月 日 打合せ事項
10 再使用機器	取外し再使用機器は、清掃及び絶縁抵抗測定の上、取付のこと。 [1.4.3]	機器取付高 壁付、壁掛形の機器等の取付高さは、図面に記載のない場合は原則として下表による。 ただし、監督職員の指示により変更することがある。	機器取付高 名称 測点 取付高 (mm) ブラケット（一般） 床～中心 2,100 ブラケット（踊場） 床～中心 2,500 ブラケット（鏡上） 鏡上端～中心 150 避難口誘導灯 床～下端 1,500以上 廊下通路誘導灯 床～上端 1,000以下 スイッチ（一般） 床～中心 1,300 スイッチ（住宅） 床～中心 1,200 スイッチ（バリアフリートイレ） 床～中心 ※1 コンセント、電話用アウトレット、直列ユニット（一般） 床～中心 300 コンセント、電話用アウトレット、直列ユニット（和室） 床～中心 150 コンセント、電話用アウトレット、直列ユニット（台上） 台上～中心 150 コンセント（保育園） 床～中心 1,100～1,200 ※1 コンセント（車庫） 床～中心 800 引込開閉器箱（低圧） 床～中心 1,500 分電盤、制御盤 床～中心 1,500（上端1,900以下） ホーム分電盤 床～中心 (下端2,000以下) ※1 開閉器箱 床～中心 1,500	打合せ事項 官庁庁等名 打合せ日時 令和 年 月 日 打合せ事項
11 絶縁抵抗等の測定	工事着手前に既存の電気設備の絶縁抵抗等を測定し、測定表を監督職員に提出する。	機器取付高	機器取付高	打合せ事項 官庁庁等名 打合せ日時 令和 年 月 日 打合せ事項
⑫ 補修など	工事の施工に伴い既成部分を汚染又は損傷した場合は、既成にならぬ補修する。	機器取付高	機器取付高	打合せ事項 官庁庁等名 打合せ日時 令和 年 月 日 打合せ事項
13 屋上・屋側の支持金物	原則としてステンレス製とする。（装柱金物は除く）	機器取付高	機器取付高	打合せ事項 官庁庁等名 打合せ日時 令和 年 月 日 打合せ事項
14 結露防止	内側断熱施工される構造体のコンクリートに埋込むボックス等には、断熱材等を取り付ける。	機器取付高	機器取付高	打合せ事項 官庁庁等名 打合せ日時 令和 年 月 日 打合せ事項
15 はつり	既存のコンクリート床・壁などの配管貫通部の穴開けは、原則としてダイヤモンドカッターを用いる。	機器取付高	機器取付高	打合せ事項 官庁庁等名 打合せ日時 令和 年 月 日 打合せ事項
16 あと施工アンカー	あと施工アンカー作業における技能者は、あと施工アンカー工事の施工に関する十分な経験と技能を有するものとする。	機器取付高	機器取付高	打合せ事項 官庁庁等名 打合せ日時 令和 年 月 日 打合せ事項
17 配線器具	タンプラススイッチは大角型通用形（ネーム入）とする。 壁付コンセントは原則として大角型通用形とし、通用形以外はプラグ付とする。 単相200V、発電機回路等のコンセントは、プレートに電圧・電源等の表示を行う。 呼出ボタンは点字付とする。	機器取付高	機器取付高	打合せ事項 官庁庁等名 打合せ日時 令和 年 月 日 打合せ事項
18 照明器具等の接地	接地線は原則として 1E 1.6mm以上(緑色)とする。また、ケーブルの一芯を使用する場合は、緑色の芯線とする。	機器取付高	機器取付高	打合せ事項 官庁庁等名 打合せ日時 令和 年 月 日 打合せ事項
19 照明器具用位置ボックス	ケーブル配線の位置ボックスは原則としてアウトレットボックスとする。 ケーブル配線で照明器具が送り端子付のもの（定格電流15A以上）及び配線が末端となるものは位置ボックスを設けなくてよい。	機器取付高	機器取付高	打合せ事項 官庁庁等名 打合せ日時 令和 年 月 日 打合せ事項

高知市 都市建設部 公共建築課

朝倉小学校下水道接続工事

係 係長 課長補佐 課長 図面番号 E - 01

図面名 特記仕様書（2） 更新日 2025. 10. 1 作図 2026 年 5月

